



学校だより

川越市立山田中学校

令和5年12月1日 発行

学校教育目標『人を尊び 本気で学び たくましく』

～ふるさと川越山田に自信と誇りを持てる生徒の育成～

自らに勝つ

校長 守岡 信一

季節の移ろいも早いもので、猛暑の8月下旬から始まった2学期も、あと15日間登校すれば終業式を迎えます。体調に留意しながら、この2学期をしっかりと締めくくり、次へ繋げてほしいと思います。

「自らに勝つ」とは、プロスポーツ選手などがよく話している言葉で、相手に勝つためには、まず自分自身に勝つことが必要であるという意味で使われます。もともとこの言葉は中国の書物「りょし しゅんじゅう呂氏春秋」に出てくる言葉で、遠い昔、中国のいわゆる戦国時代に実際の体験を通して生まれた言葉だそうです。「りょし しゅんじゅう呂氏春秋」には「自らに勝つ」ということについて次のように書かれています。

「人に勝たんと欲する者は、必ず先^まず自らに勝ち、人を論ぜんと欲する者は、必ず先ず自ら論じ、人を知らんと欲する者は、必ず先ず自ら知る」

人に対して何かで勝とうとするときには、まず自分自身が様々な欲望に打ち勝つ必要があること。また、論じたり、他人をさらに知ろうとしたりするときにも、まず、自分から動き始めなければならない、と私なりに解釈をしています。

このことは、プロスポーツ選手だけに当てはまるのではなく、私たち一人一人の生活においても同じだと思うのです。これから、みなさんには様々な形での試練があることと思いますが、それに負けないで向き合ってほしいと願っています。

人は誰でも不安です。しかし、人生の主人公はあなたたち自身です。自分が、自分で、自分を、育てる（つくる）のだということを忘れないでください。周りにいる先生方や保護者、地域の方々は、みなさんの一番の理解者ではありますが、支援者、応援者です。根本は何と言ってもみなさん一人一人自身にあるのです。特に入試に挑む3年生には、自分の欲望に負けることなく、夢を掴んでほしいと心から願っています。みなさんの未来はきっと光輝いています。どんなことでも、必ず自分のためになると信じて、力強く突き進んでほしいと願っています。これからも山中生の輝く姿を楽しみにしています。